

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公表番号】特表2014-525776(P2014-525776A)  
 【公表日】平成26年10月2日(2014.10.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-054  
 【出願番号】特願2014-519181(P2014-519181)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/58

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月26日(2015.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脊椎骨に中央からずれた状態で添着するための非対称な形態を有する脊椎プレートと、上面と、下面と、前記上面と前記下面との間の厚みと、2つ以上の隣接する椎体に跨ってそれらの間の長さを規定する第 1 の端部及び第 2 の端部と、第 1 の側部及び対向する第 2 の側部であって、前記第 2 の側部の前記厚みが前記第 1 の側部の前記厚みよりも大きい、第 1 の側部及び第 2 の側部と、

前記上面及び前記下面を通して延びている、少なくとも 2 つの対となる締結具穴とを含み、

前記少なくとも 2 つの対となる締結具穴は、前記第 1 の側部よりも前記第 2 の側部の近くに配置され、前記少なくとも 2 つの対となる締結具穴のそれぞれは、ロック締結具穴に隣接する骨係合締結具穴により構成されており、前記骨係合締結具穴は、前記穴を通過する骨締結具が前記脊椎プレートの前記第 1 の側部の方へ傾斜させられるように傾斜しており、前記ロック締結具穴は、ロック締結具を受けるように構成されている、脊椎プレート装置。

【請求項 2】

前記脊椎プレートの対応する骨係合締結具穴を通して送達される、少なくとも 2 つの骨係合締結具をさらに備える、請求項 1 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 3】

前記プレートの前記第 2 の側部から前記第 1 の側部の方へ延びる斜めの角度で、前記脊椎プレートの対応する前記骨係合締結具穴を通して延びるように構成された、少なくとも 2 つの骨係合締結具を備える、請求項 1 または 2 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 4】

前記脊椎プレートに対応する骨係合締結具を固定するために、対応するロック締結具穴に受け入れられるように構成された少なくとも 2 つのロック締結具をさらに含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 5】

前記ロック締結具穴の一部がねじ付きである、請求項 4 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 6】

前記ロック締結具穴が、対応する骨係合締結具穴に対して鋭角となるように配置される

、請求項 4 または 5 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 7】

前記脊椎プレート装置が、ロック締結具が前記ロック締結具穴を通して送達された際、該ロック締結具と係合するように構成されたロック外形部をさらに含み、前記ロック外形部は、骨係合締結具が前記骨係合締結具穴を通して送達された際、該ロック締結具を固定するように構成され、それによって対応する該骨係合締結具を固定する、請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 8】

前記ロック外形部が、前記ロック締結具の頭部と係合するように構成された、請求項 7 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 9】

前記ロック締結具の前記頭部が、複数の切欠きを含む、請求項 8 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 10】

前記ロック外形部が、前記ロック締結具の前記頭部の前記複数の切欠きに係合する、請求項 9 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 11】

前記骨係合締結具が前記骨係合締結具穴に挿入され、前記ロック締結具が前記ロック締結具穴に挿入される際、前記骨係合締結具の頭部が前記脊椎プレートと前記ロック締結具の頭部との間に部分的に配されるように、前記骨係合締結具穴が配置される、請求項 7 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 12】

前記ロック外形部が、ばねに装填された戻り止め球を含む、請求項 7～11 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 13】

前記プレートの前記下面が凹状である、請求項 1 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 14】

上面と、下面と、前記上面と前記下面との間の厚みと、  
前記上面及び前記下面を通して延びている、少なくとも 2 つの対となる締結具穴であ  
って、前記少なくとも 2 つの対となる締結具穴のそれぞれは、骨係合締結具穴により構成  
された、少なくとも 2 つの対となる締結具穴と、

前記骨係合締結具穴に隣接して配置されたロック締結具穴と  
を含む脊椎プレート、

前記骨係合締結具穴を通して送達されるように構成された少なくとも 1 つの骨係合締結具、

前記骨係合締結具を前記脊椎プレートに固定するために、前記ロック締結具穴を通して送達されるように構成された少なくとも 1 つのロック締結具、及び

前記ロック締結具が隣接する前記ロック締結具穴を通して送達された際に、前記ロック締結具と係合するように構成されたロック外形部であって、前記骨係合締結具が前記骨係合締結具穴を通して送達される際、前記ロック外形部は前記ロック締結具を固定するように構成され、それによって、前記骨係合締結具を固定する、ロック外形部、  
を含む、脊椎プレート装置。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの骨係合締結具がねじ付き締結具である、請求項 14 に記載の脊椎プレート装置。

【請求項 16】

前記骨係合締結具穴が軸線を規定し、該軸線を通して前記骨係合締結具が送達され、前記軸線は、前記ロック締結具穴によって規定される軸線であって、該軸線を通して前記ロック締結具が送達される軸線に対して鋭角である、請求項 14 または 15 に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 17】

前記骨係合締結具穴が軸線を規定し、該軸線を通して前記骨係合締結具が送達され、該軸線は、前記脊椎プレートの下面と鋭角である、及び、前記ロック締結具穴は軸線を規定し、該軸線を通して前記ロック締結具が送達され、該軸線は、前記脊椎プレートの前記下面と略垂直である、請求項 14～16 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 18】

少なくとも 2 つの骨係合締結具穴と、対応する骨係合締結具穴に近接した位置に設けられた少なくとも 2 つのロック締結具穴とを含む、請求項 14～17 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 19】

前記ロック締結具穴の一部がねじ付きである、請求項 14～18 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 20】

前記骨係合締結具が頭部と軸部とを含み、前記ロック締結具が頭部と軸部とを含む、請求項 14～19 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 21】

前記ロック外形部が、前記ロック締結具の前記頭部と係合するように構成された、請求項 20 に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 22】

前記ロック締結具の前記頭部が、複数の切欠きを含む、請求項 20 または 21 に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 23】

前記ロック外形部が、前記ロック締結具の前記頭部における前記複数の切欠きと係合している、請求項 22 に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 24】

前記骨係合締結具が前記骨係合締結具穴に挿入され、前記ロック締結具が前記ロック締結具穴に挿入される際、前記骨係合締結具の前記頭部が、前記脊椎プレートと前記ロック締結具の前記頭部との間に部分的に配され得るように、前記骨係合締結具穴が配置される、請求項 20 に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 25】

前記ロック外形部が、ばねに装填された戻り止め球を含む、請求項 14～21 のいずれか 1 項に記載の脊椎プレート装置。

## 【請求項 26】

前記第 1 の側部は、前記脊椎プレートが添着される椎骨の中心線の方へ及び該中心線の上へ延びている、請求項 1 に記載の脊椎プレート装置。